

デジタル・AIが拓く スマート歯科医学・ 歯科医療の未来

令和8年

10月15日 木
15:30～17:00

場 所

パシフィコ横浜
国立大ホール

神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

本シンポジウムは、日本矯正歯科学会との共催により、一般市民向け公開企画として開催され、デジタル技術とAIがもたらす歯科医学・歯科医療の最前線を、第一線の研究者の講演を通じてわかりやすく紹介し、未来の医療の姿を共に展望することを目的とする。超高齢社会において、「健康寿命」および「幸福寿命」の延伸を支える鍵として口腔の健康が注目される中、歯科医療は従来の治療中心から、予防・予測・先制へと大きく変革しつつあり、その基盤としてAI、ビッグデータ、バイオインフォマティクス等を融合したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進が不可欠である。

本シンポジウムでは、今後の歯科医療および歯学研究においてAIを活用する意義と課題、画像生成AIやAIエージェントを活用した材料開発、骨のリモデリングや代謝を再現する*in silico*バイオメカニクスなど、分野横断的な最先端の知見が紹介される。これらは、歯科医学と情報科学、材料科学、生命科学の融合により、新たな医療の可能性が切り拓かれてつつあることを示すものである。

専門性の高い研究内容を一般市民にも開かれた形で共有し、「食べる・話す・暮らす」という人間の基本的営みを支える歯科医療の価値を再認識するとともに、AI時代における医療のあり方を共に考える場とする。学術と社会をつなぐ対話を通じて、誰もが生涯にわたり健やかで豊かな生活を享受できる未来社会の実現を目指す。

主 催 日本学術会議 歯学委員会、
臨床系歯学分科会・病態歯学系分科会・基礎系歯学分科会

共 催 公益社団法人 日本矯正歯科学会

後 援 日本生命科学アカデミー(申請予定)

参加
無料



オンライン視聴はこちらのHPから可能です。
※日本矯正歯科学会学術大会参加者以外の方は、
オンライン視聴のみとなります。

PROGRAM

挨拶

15:30 村上 伸也 日本学術会議 第二部会員(第25期、第26期)、歯学委員会、病態歯学系分科会、大阪大学 名誉教授
新井 一仁 公益社団法人 日本矯正歯科学会 理事長、日本歯科大学 生命歯学部 教授

講演

座長 山城 隆 日本学術会議 連携会員(第26期)、歯学委員会、臨床系歯学分科会、
公益社団法人 日本矯正歯科学会 診療ガイドライン策定委員会 委員長、
大阪大学大学院歯学研究科 教授
後藤 多津子 日本学術会議 連携会員(第26期)、歯学委員会、臨床系歯学分科会、
病態歯学系分科会、基礎系歯学分科会、東京歯科大学歯学部 教授

15:35 『AIが拓く 歯科医学研究の新展開と今後の展望』
山口 哲 大阪大学大学院歯学研究科 AI研究ユニット 教授

16:00 『材料開発における画像生成AIおよびAIエージェントの可能性』
小山 敏幸 物質・材料研究機構 構造材料研究センター
計算組織設計グループ グループリーダー

16:25 『骨リモデリングのデジタル再構築』
安達 泰治 日本学術会議 連携会員(第26期)、機械工学分科会、総合工学分科会、
京都大学 医生物学研究所 副所長、
生命システム研究部門 バイオメカニクス分野 教授

16:50 まとめ

挨拶

16:55 樋田 京子 日本学術会議 第二部会員(第26期、第27期)、歯学委員会、基礎系歯学分科会、
北海道大学大学院歯学研究院 教授